

私たちはボランティア精神のもと  
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

# 会報/市民後見人の会 No. 172

2022年3月22日発行 通巻No.182号

創刊2007年2月27日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～15時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

## ◆受任第47号男性永眠◆

後見部会 小川雅之

令和4年2月21日、本会受任第47号被後見人の男性が特養施設にてご逝去されました。  
(享年74歳)

ご本人は脳梗塞による転倒で入院。右半身麻痺、失語症という後遺症がありました。その後リハビリを続け老健施設で過ごされましたが、終の棲家としてあきる野市の特養での生活を選択いたしました。

最近の生活はとても順調で、施設でも明るい性格を存分に発揮されていたある日、コロナウイルス陽性が発覚しました。発熱は長く続く事もなく落ち着いてきたのですが、陽性になった当初から食事を拒否する事があると連絡がありました。コロナウイルス自体は改善されたのですが、食欲が日増しに落ちていき、ついには食べない日が続いてしまいました。

そして、最期の日、夜中の1時50分、「呼吸が止まりました」と施設から連絡がありました。死因は老衰でした。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



## ◆第 42 号後見活動の報告◆

後見部会 豊倉 和美

前号において、受任番号 42 号の訃報をご連絡しました。正担当として、K さん（男性：83 歳）の後見活動の経緯をここに報告します。

K さんは認知症と診断され品川区内老人保健福祉施設に入所してから、平成 30 年 11 月に市民後見人の会として、受任しました。

当初は養護老人ホームや有料老人ホーム入所を検討し見学も一緒しました。途中ファミレスで食事したりして食欲も旺盛な方でした。要介護 2 となった 2 年後に区外老人保健施設に転所しましたが、すんなりと環境の変化に対応できました。しかし、コロナ禍で 1 年間はタブレット面会となり、さらに 1 年間は後見人として施設に行くことができず、相談員より状況報告を受けるのみでした。

昨年 11 月末に区内特養への入所が決まり、さらに要介護 4 の認定もおりました。1 年ぶりに再会し、健康診断に同行したところ、10 月から発症した尿路感染症の悪化が認められその結果、特養入所はキャンセルとなりました。

病状が改善されないため、立川市内の総合病院で精密検査をし、尿路感染症と誤嚥性肺炎併発のため、12 月 28 日に入院となりました。年明けには炎症の数値も下がり安堵しました。しかし食事が一切取れなくなり様々な治療を施しましたが、1 月 20 日に容態が悪化し、夕方に呼吸停止との連絡がありました。

後見担当としては 4 年間でしたが、当初はお話もよくされ意思疎通も可能でお会いするのも、とても楽しみでした。コロナ禍でやむを得ないとはいえ、1 年ぶりにお会いした時には身体も拘縮し、リクライニング車椅子生活でお話もほとんどできず、会えない日々が本当に残念でなりませんでした。最後に火葬に担当者 2 名で立ち会い、お別れできたことは良かったと思います。

## ◆市民後見人養成講座◆

2021 年度の市民後見人養成講座が昨年は中止のため 2 年ぶりに品川区中小企業センターで開催され全日程を終え無事終了しました（受講生 21 名、開催日 2 月 26 日、27 日、3 月 5 日、12 日、19 日）。4 回目の 3 月 12 日には受講生の方たちの自己紹介とこれまでの講義内容への感想を述べて頂き、「大事な活動という事はよく理解できたが果たして自分にできるか」と発言される方たちもいました。最後の修了日には 7 名の方たちが入会しました。



## ◆2021 年度 2 月度理事会議事録◆

- 1 開催日時 2022 年 2 月 21 日（月）17 時 30 分～19 時 10 分
- 2 開催場所 荏原第五地域センター第 3 集会室
- 3 出席理事 朝倉鈴子、大金修、金城清、古賀忠壹、斉藤裕二、杉谷徹夫、杉山麻里子、高原三平、馬庭俊一郎各理事
- 4 欠席理事 内山恵子
- 5 オブザーバー 國枝園子、小松統各監事 (敬称略)
- 6 議事

### <協議事項>

- ① 2022 年度事業計画・予算について別添資料により協議した。  
今後の方針として以下を確認した。
  - ・全体収支がマイナス（約 60 万円）だが、剰余金の有効活用で、会の活性化のための利用（IT 環境整備、謝金見直等）を複数年、計画的に行うこととした。
- ② 本会組織について協議した。

### <報告・連絡事項>

- ① 今後のコロナ対策について、本会は従来の方針で進めたい。（古賀）
- ② 2021 年度市民後見人養成講座について申込者数等の報告があった。（杉谷）
- ③ 47 号逝去の報告があった（2 月 21 日、享年 74 歳）。（斉藤、杉山）
- ④ 「付加報酬の申立て方針」について、別添資料により報告があった。（斉藤）
- ⑤ 「後見活動事例集」（生活、財産、身体、死後事務の対応をまとめた）の報告があった。（斉藤）
- ⑥ 会費納入状況について報告があった。（高原）
- ⑦ 会報 2 月号について概要報告があった。（金城）

### <今後の予定>

- ・ 3 月 22 日（火）理事会
- ・ 3 月 26 日（土）情報交換会
- ・ 3 月 28 日（月）月曜カフェ (記 高原三平)

ウクライナ、コロナ、国内での東日本大震災をはじめとする各地の震災の振り返り、と心が重くなる事が続いています。「施設療養死、急増 高齢者おそったコロナ第 6 波」の見出しで「第 6 波は施設内で死亡した高齢者が際立って多い」（毎日新聞 3 月 21 日）という報道があります。本号 1 頁に寄稿している小川会員が担当していた方もコロナ陽性でした。コロナ禍は本会の後見活動にも大きな影響を与えています。前を向いて進んで行ければと思います。(金城 清)